



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

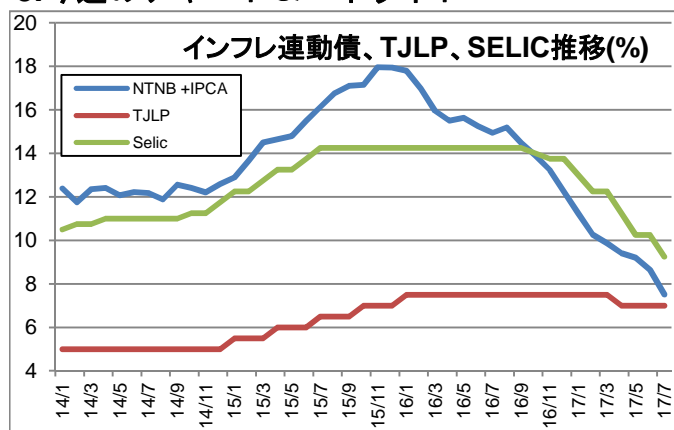
			8月21日	8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1650	3.1630	3.1420	3.1480	3.1590	+0.0110
	BRL/JPY	Spot	34.41	34.67	34.70	34.80	34.61	-0.19
	EUR/USD	Spot	1.1816	1.1761	1.1809	1.1800	1.1925	+0.0125
	USD/JPY	Spot	108.92	109.58	109.03	109.54	109.35	-0.19
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.91	7.89	7.82	7.75	7.72	-0.0260
	Future	1Year(p.a.)	7.85	7.84	7.74	7.68	7.65	-0.0292
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.273	2.331	2.380	2.353	2.348	-0.005
	USD	1Year(p.a.)	2.526	2.580	2.612	2.561	2.485	-0.076
株式	Bovespa指数	68,634.63	70,011.25	70,477.63	71,132.81	71,073.65	-59.16	
CDS	CDS Brazil 5y	202.99	203.00	199.67	197.33	197.68	+0.34	
商品	CRB指数	176.548	176.728	177.584	177.796	177.828	+0.032	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.15を挟んだ小動き。
- 週初のレアルは3.1490で寄り付いた。週前半は、ミナスジェライス州の電力公社売却の入札が地方裁判所によって差し止められたことや、下院特別委員会が制度融資の長期貸出金利(TLP)の採決延期を発表したことを受けてレアルは軟調推移し、週間安値3.1850を示現した。その後、下院特別委員会でのTLP可決を受けレアルは反発。週間高値3.1340を示現した。週末にかけてはイエレンFRB議長の講演を受けてドルが幅広い通貨に対して売られたが、レアルは大口のアウトフローと思いきドル買いが見られ3.16台まで反落。3.1590で越週。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率の2017年予想が0.34%に、2018年予想が2.00%にいずれも据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.50%から3.51%へ5週連続で上方修正されたが、2018年は4.20%に据え置かれた。為替レート予想は2017年末が3.25から3.23へ、2018年末が3.40から3.39へ、いずれもレアル高方向に修正された。
- 22日、政府は電力公社Eletrobrasの民営化の意向を発表。同社の株価は一時前日比+49%の急騰となった。
- 25日、ジャクソンホールで行われたイエレンFRB議長講演では、金融政策見通しについて新たな見解は示されず、一部で警戒されていたタカ派なトーンが含まれなかった。これを受けてドルは対主要通貨で全面安の展開となった。ユーロドルは8月の直近高値を上抜け、2015年1月以来2年7か月ぶりの高値をつけた。

3. 今週のチャート&ハイライト



下院特別委員会がTLP導入を可決

23日に下院特別委員会がTLPの導入を可決。TLPはBNDES(国家経済社会開発銀行)の制度融資に適用が予定されているベースレートで、5年物インフレ連動債の実勢レートに基づいて毎月決定される。現在のTJLPは市場金利より意図的に低く抑えられ、利用企業に対する補助としての役割を担っていたが、TLPが導入されるとBNDESの負担が軽減され、政府の財政収支改善に寄与すると見られる。また、TLPは市場で取引される金利に連動するため、政策金利であるSelicの影響を強く受ける。ブラジル国内融資の2割を占めると言われるBNDESのベースレートを市場金利に連動させることで、中銀の金融政策の効果が高まると見られる。同法案は来週下院議会で採決される予定。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に起因するいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10-3.25

来週は米国でGDPや雇用統計等の主要経済指標発表が目白押しとなっている。レアルは米国経済指標に左右される展開を予想する。国内ではTLPの下院採決がある。マイヤ下院議長は火曜日までの下院通過を目指すとしているが、下院特別委員会の可決を受けて市場参加者は法案の下院通過をかなり織り込んだと見られ、マーケットへの影響は限定的となる。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.31%	0.22%	0.22%
ブラジル	FGV消費者信頼感	--	80.9	82.0
ブラジル	税収	109969m	109948m	104100m
米	耐久財受注(前月比)	-6.0%	-6.8%	6.4%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	8/28	FGV建設コスト(前月比)	Aug	0.36%	0.22%
ブラジル	8/28	貿易収支(週次)	Aug 27	--	\$1332m
ブラジル	8/29	FGVインフIGPM(前年比)	Aug	-1.72%	-1.66%
ブラジル	8/30	基礎的財政収支	Jul	-18.2b	-19.6b
ブラジル	8/30	純債務対GDP比	Jul	49.90%	48.70%
米	8/30	GDP(年率/前期比)	2Q S	2.70%	2.6%
ブラジル	8/31	全国失業率	Jul	13.0%	13.0%
米	8/31	個人所得	Jul	0.3%	0.0%
ブラジル	9/1	FGV CPI IPC-S	Aug 31	0.30%	0.33%
ブラジル	9/1	マーケット・ブラジルPMI製造業	Aug	--	50.0
ブラジル	9/1	GDP(前期比)	2Q	0.1%	1.0%
ブラジル	9/1	CNI設備稼働率(季調済)	Jul	--	77.0%
ブラジル	9/1	貿易収支(月次)	Aug	\$4350m	\$6298m
米	9/1	非農業部門雇用者数変化	Aug	180k	209k
米	9/1	ISM製造業景況指数	Aug	56.5	56.3

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませ。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。